

第22期 決算公告

2025年6月26日

東京都港区芝三丁目8番2号
株式会社 長谷工アネシス
代表取締役 楠岡 祥之

貸借対照表(2025年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	11,547,010	流動負債	363,393
現金及び預金	11,445,654	未払金	35,608
未収入金	48,979	未払費用	152,595
未収法人税等	15,374	未払法人税等	5,810
立替金	1,428	未払消費税等	42,578
貯蔵品	16	預り金	6,742
前払費用	20,533	前受収益	1,863
短期貸付金	15,027	賞与引当金	118,198
固定資産	10,651,935	固定負債	301,247
有形固定資産	262,553	繰延税金負債	183,319
工具器具備品	33	役員株式給付引当金	5,034
土地	262,521	株式給付引当金	75,632
		預り保証金	37,262
投資その他の資産	10,389,382	負債合計	664,640
投資有価証券	795,000	純資産の部	
関係会社株式	8,838,092	株主資本	21,534,305
前払年金費用	740,907	資本金	100,000
長期前払費用	83	資本剰余金	62,746
その他投資	15,300	資本準備金	62,746
		利益剰余金	21,371,559
		その他利益剰余金	21,371,559
		繰越利益剰余金	21,371,559
		(当期純利益)	(10,949,866)
資産合計	22,198,945	純資産合計	21,534,305
		負債及び純資産合計	22,198,945

(注) 記載金額の千円未満は四捨五入して表示しております。

個 別 注 記 表

【 重要な会計方針に係る事項に関する注記 】

1. 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

但し、1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

無形固定資産

(リース資産を除く)

定額法

ソフトウェア（自社利用）については社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

役員株式給付引当金

役員に対する長谷工コーポレーション株式の給付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。

株式給付引当金

従業員に対する長谷工コーポレーション株式の給付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理をすることとしております。

なお、当事業年度末において認識すべき年金資産が、退職給付債務から数理計算上の差異等を控除した額を超過する場合には、前払年金費用として投資その他の資産に計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

受取配当金収入

当社の子会社の決算において確定した配当金の配当をもって収益を認識しております。

業務受託収入

契約に定める内容に応じて一時点又は一定の期間にわたり履行義務を充足し、収益を認識しております。取引価格は顧客との契約により決定しており、対価は当該契約に基づき受領しております。

貸室営業収入

リース取引に関する会計基準（企業会計基準第13号）に基づき収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。